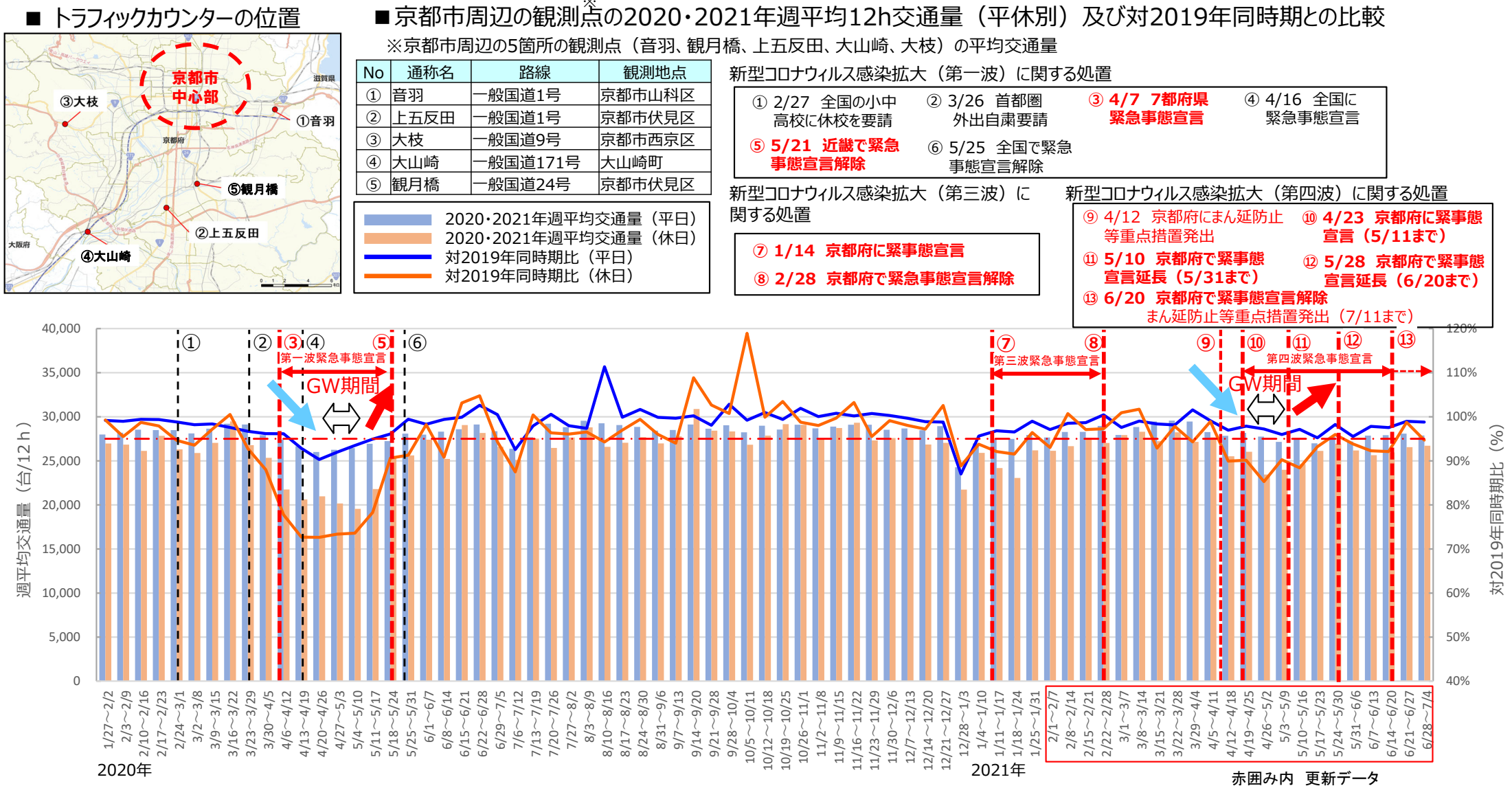


令和3年度 第1回 京都府域渋滞対策協議会

新型コロナウイルス感染拡大による交通状況等の変化

1. 京都市周辺の直轄国道における交通量の変化(2020・2021年)

○京都市(外縁部)の直轄国道における交通量は、GW期前後に最も低下したが、2020年6月頃には対前年比95%程度まで回復。
以降95%を下回る時期もあるが、2020年9月中旬以降は概ね95%以上で推移【第一波・二波の影響】
○二度目の緊急事態宣言前の年末年始から交通量が減少傾向であるが、一度目ほどは減少しなかった。しかし2021年4月に入り休日のみ再度減少傾向【第三波・第四波の影響】

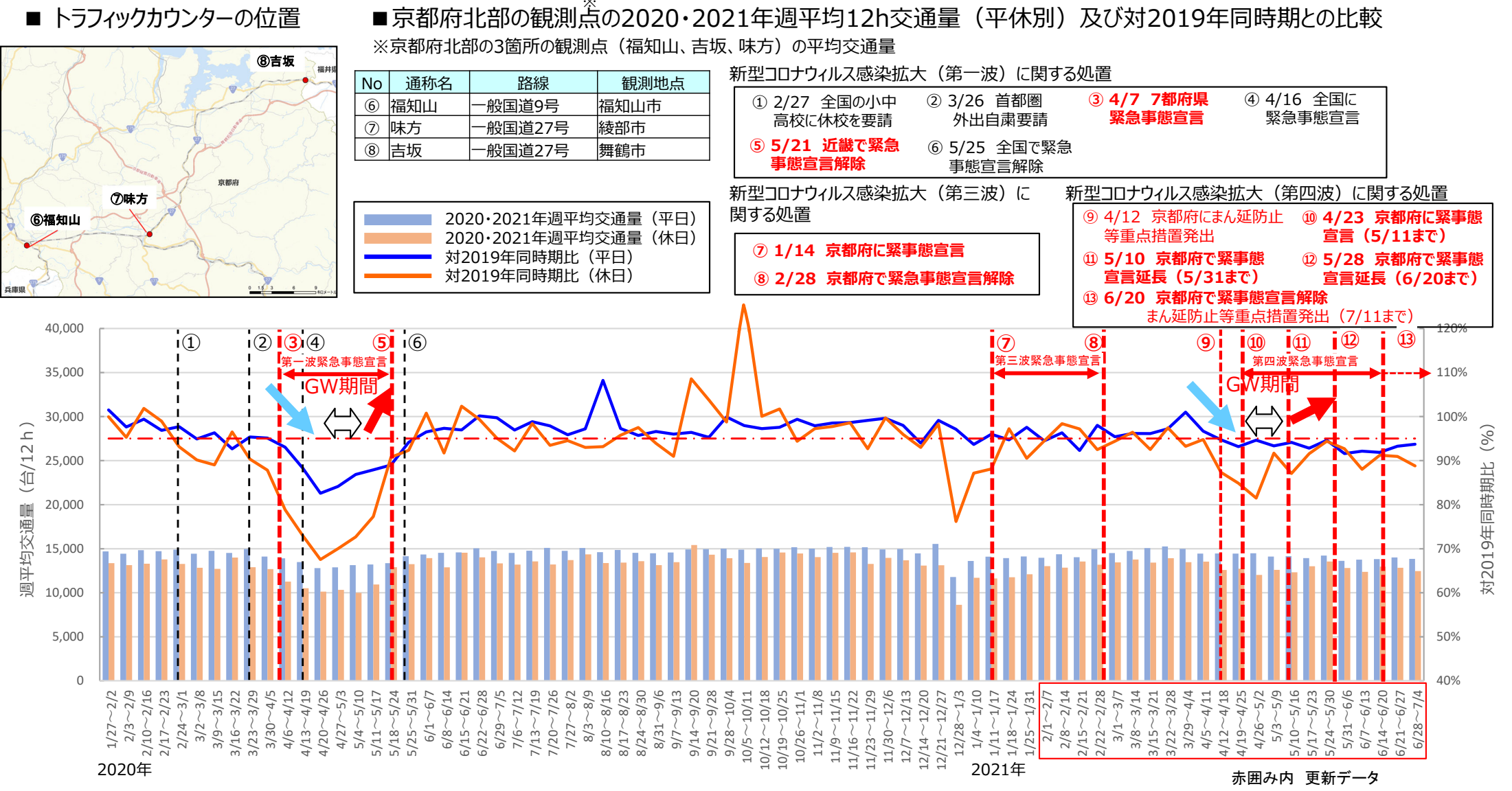


2. 京都府北部の直轄国道における交通量の変化(2020・2021年)

協議会資料2

○京都府北部の直轄国道における交通量は、2020年3月より減少傾向でGW期前後に最も低下したが、2020年6月頃には対前年比95%程度まで回復。以降95%を下回る時期もあるが、2020年9月中旬以降は概ね95%以上で推移。【第一波・二波の影響】

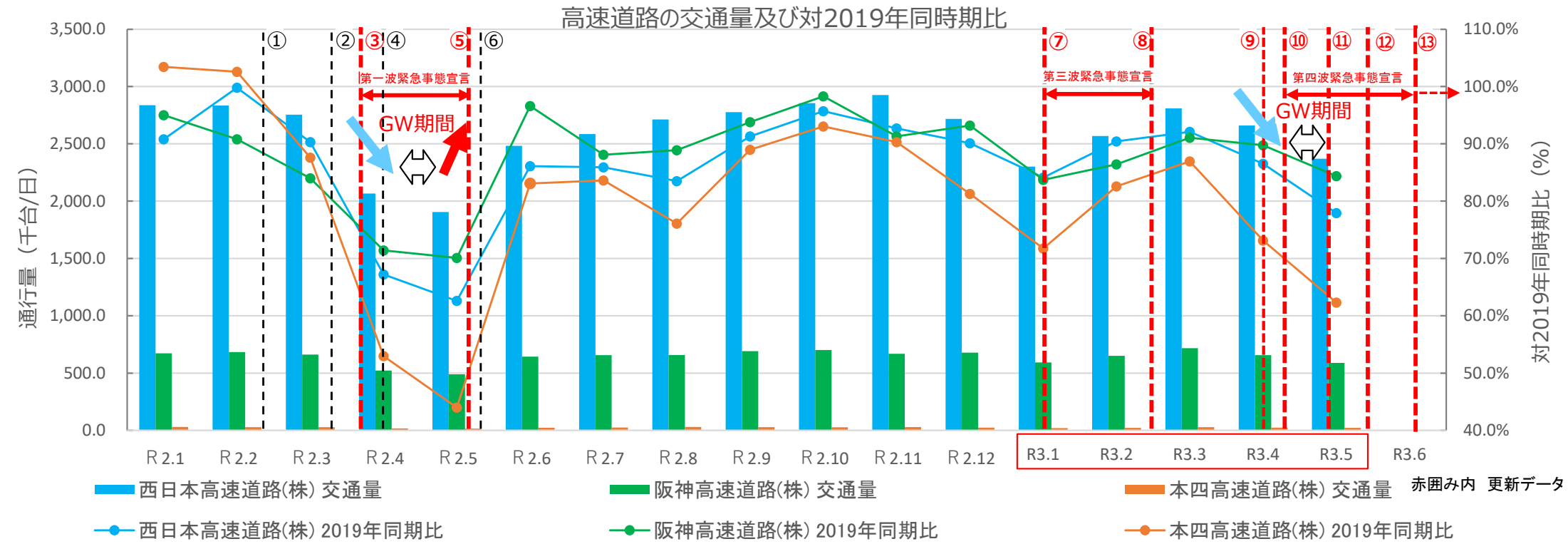
○二度目緊急事態宣言前の年末年始から交通量が減少傾向(休日のみ)であるが、一度目ほどは減少しなかった。しかし2021年4月に入り再度減少傾向【第三波・第四波の影響】



3. 高速道路における交通量の変化

○各高速道路における交通量は、対2019年比では2020年5月に最も低下しその後は回復傾向であったが、2021年年始の第三波及び2021年4月の第四波で再度減少。

○京都府内も通る西日本高速道路の交通量は、2020年9月以降90～95%程度で推移したが、2021年年始の第三波及び2021年4月の第四波で再度減少。



- 新型コロナウイルス感染拡大（第一波）に関する処置

 - ① 2/27 全国の小中高校に休校を要請
 - ② 3/26 首都圏外出自粛要請
 - ③ 4/7 7都府県緊急事態宣言
 - ④ 4/16 全国に緊急事態宣言
 - ⑤ 5/21 近畿で緊急事態宣言解除
 - ⑥ 5/25 全国で緊急事態宣言解除
- 新型コロナウイルス感染拡大（第三波）に関する処置

 - ⑦ 1/14 京都府に緊急事態宣言
 - ⑧ 2/28 京都府で緊急事態宣言解除
- 新型コロナウイルス感染拡大（第四波）に関する処置

 - ⑨ 4/12 京都府にまん延防止等重点措置発出
 - ⑩ 4/23 京都府に緊急事態宣言 (5/11まで)
 - ⑪ 5/10 京都府で緊急事態宣言延長 (5/31まで)
 - ⑫ 5/28 京都府で緊急事態宣言延長 (6/20まで)
 - ⑬ 6/20 京都府で緊急事態宣言解除まん延防止等重点措置発出 (7/11まで)

※ 西日本高速道路(株)の交通量は原則として支払料金所における通行台数をカウントしたものである。(関門トンネルを除いたもの)

※ 阪神高速道路(株)の交通量は阪神高速1回の利用を「1台」として集計。

※ 本四高速道路(株)は、明石大橋・大鳴門橋の断面交通量の平均値である。

出典: 各高速道路(株)のHPに公開されている交通量を基に作成

西日本高速道路(株) <https://corp.w-nexco.co.jp/corporate/disclosure/business/>

阪神高速道路(株) <https://www.hanshin-exp.co.jp/company/kigyuu/data/data1.html>

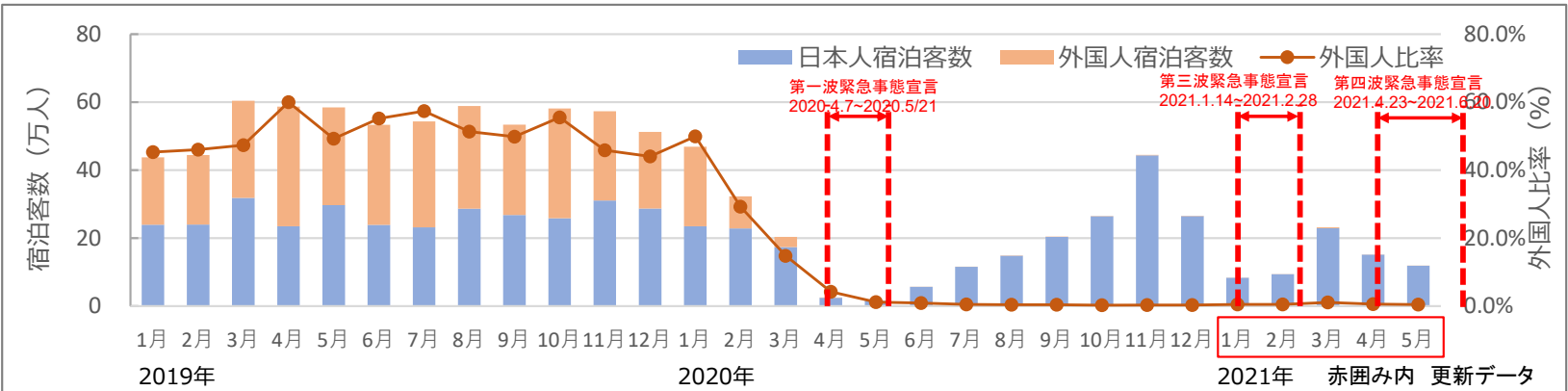
本四高速道路(株) https://www.jb-honshi.co.jp/corp_index/company/data/traffic-result.html

4. 京都府内の観光客数等の状況

○京都府内の観光客数は、外国人観光客の回復がみられない状況。日本人観光客数は2020年6月～11月にかけて回復したが、2020年12月以降は再度落ち込み年明け後も、第三波・第四波の影響を受け減少している。

○客室稼働率も2020年11月時点で約60%と回復傾向にあったが、観光客数と同様に2020年12月以降は低い水準で推移。

■(宿泊客数)の推移

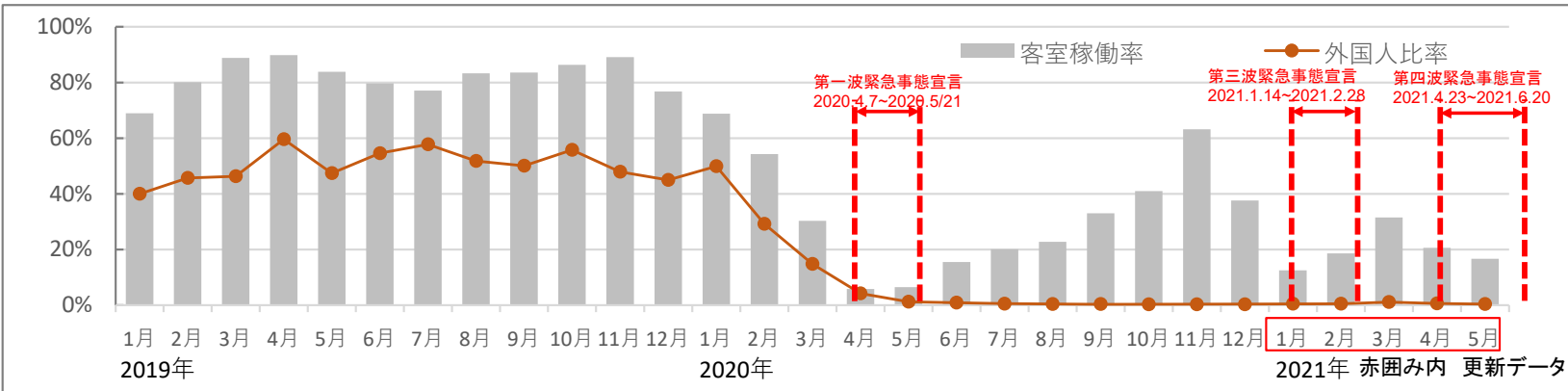


調査対象ホテル数及び販売可能客室数は、下表の通り変動しているため比較する際には注意が必要。

調査対象ホテル数の推移

	2019年	2020年	2021年
1月	54	58	68
2月	54	59	68
3月	54	59	81
4月	56	56	94
5月	57	55	95
6月	57	59	
7月	58	61	
8月	58	63	
9月	58	64	
10月	58	65	
11月	58	66	
12月	58	68	

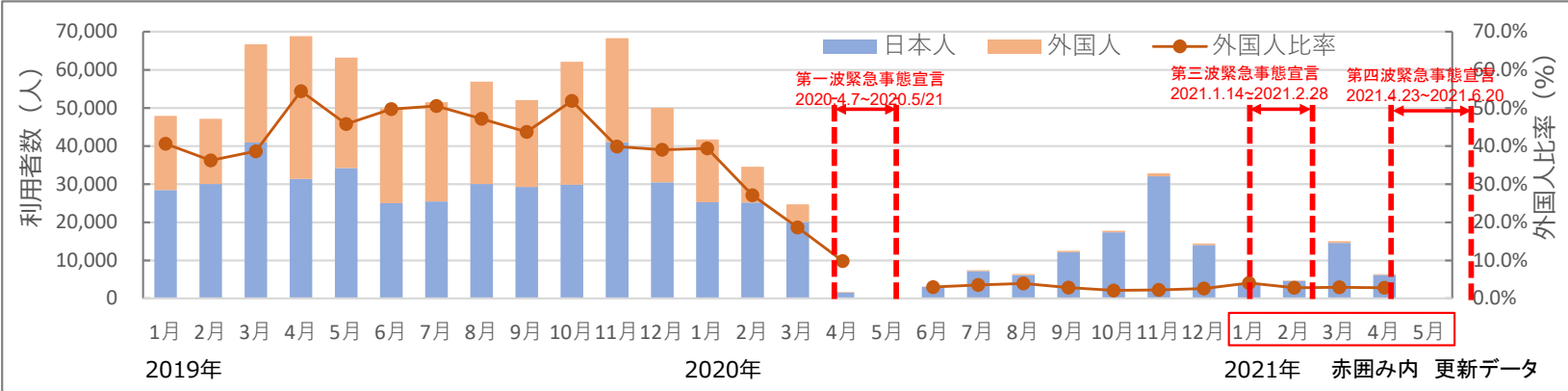
■外国人比率推移



調査対象ホテル販売可能客室数の推移

	2019年	2020年	2021年
1月	11,637	12,647	13,837
2月	11,637	12,519	13,762
3月	11,637	12,796	15,330
4月	12,164	11,830	16,997
5月	12,579	11,823	16,762
6月	12,632	12,342	
7月	12,933	12,776	
8月	12,567	13,208	
9月	12,567	14,921	
10月	12,568	13,685	
11月	12,568	14,381	
12月	12,647	14,081	

■利用者数の推移



(出典)京都市観光協会
京都市観光協会月報本資料
(2019年1～2021年5月)を
使用して作成

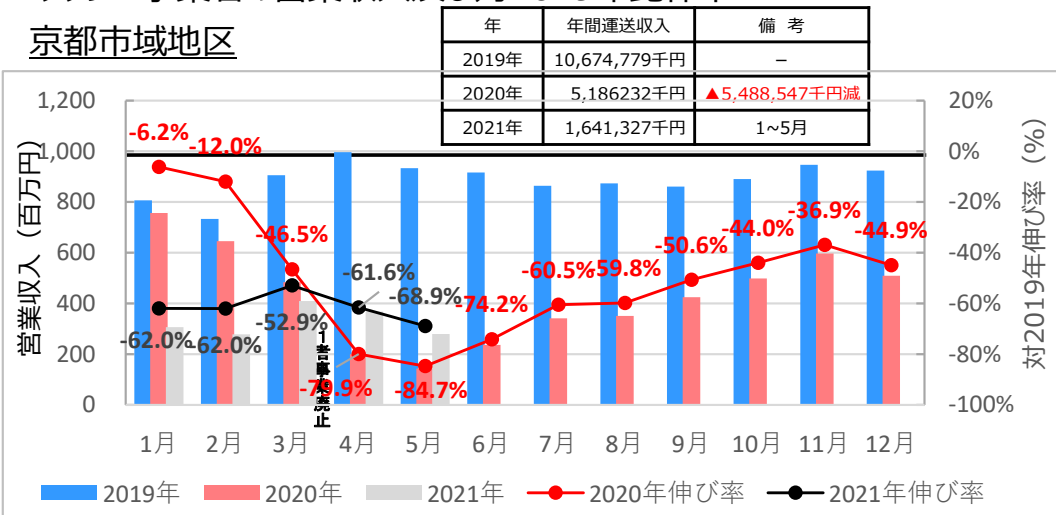
<https://www.kyokanko.or.jp/report/>

5. 京都府内における観光交通の状況

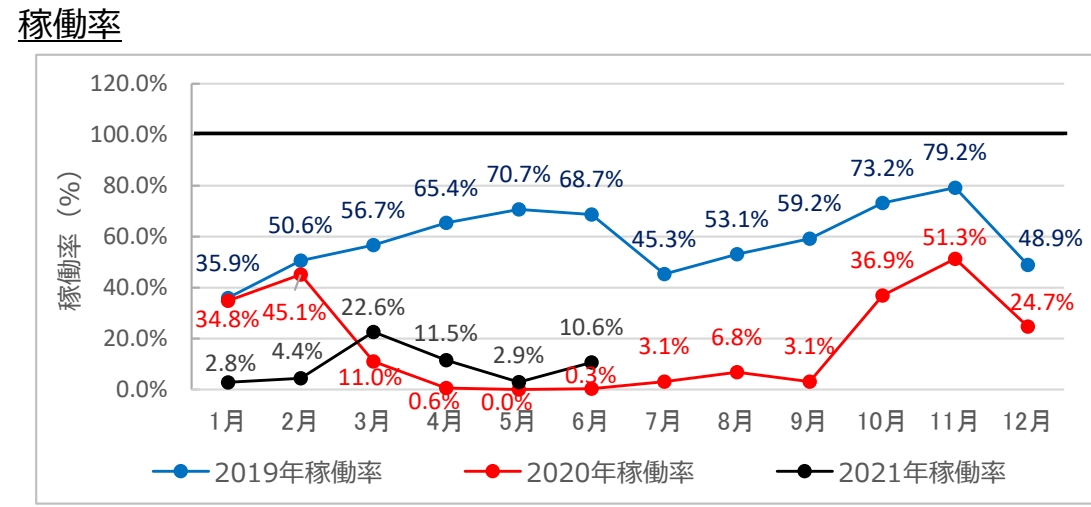
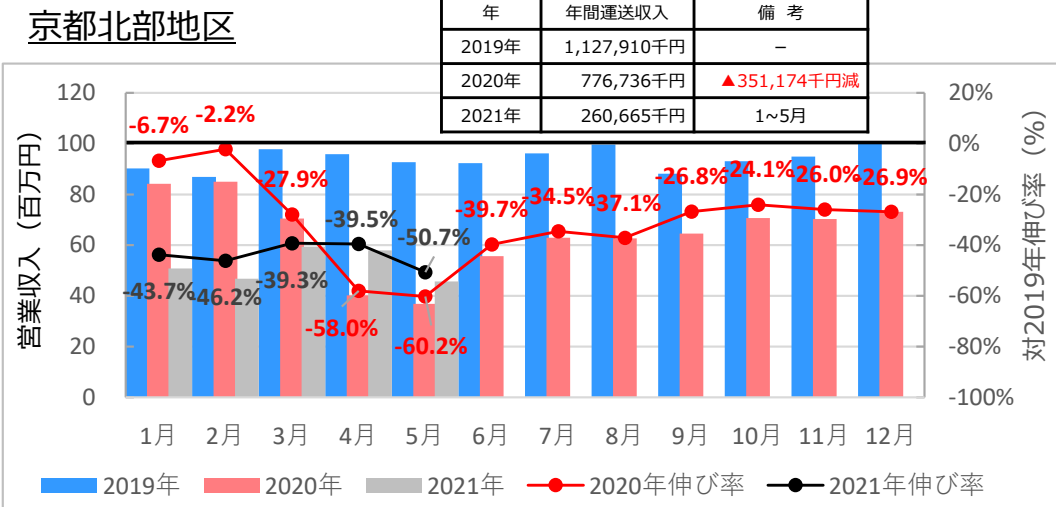
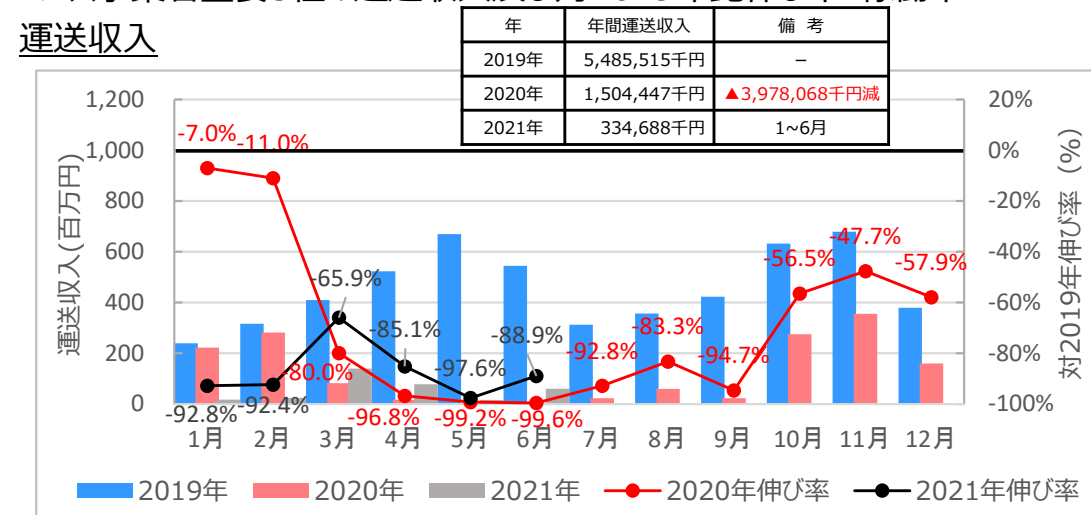
○タクシー事業者の営業収入は、「京都市域」「京都北部」共に2020年5月に底を打ち、その後2020年11月頃まで回復傾向にあったが、2020年12月に再度落ち込み、年明け後も第三波の影響を受け減少傾向。

○バス事業者の運送収入は最も回復した2020年11月で2019年比約-48%と著しく減少し。2020年12月は再度落ち込みがみられ、年明け後も第三波・第四波の影響を受け減少傾向。稼働率も2019年に大きく及ばない。

■タクシー事業者の営業収入及び対2019年比伸率



■バス事業者主要5社の運送収入及び対2019年比伸び率・稼働率



※対2019年伸び率は、2019年から2021年各月の営業収入より算出

※対2019年伸び率は、2019年から2021年各月の営業収入より算出

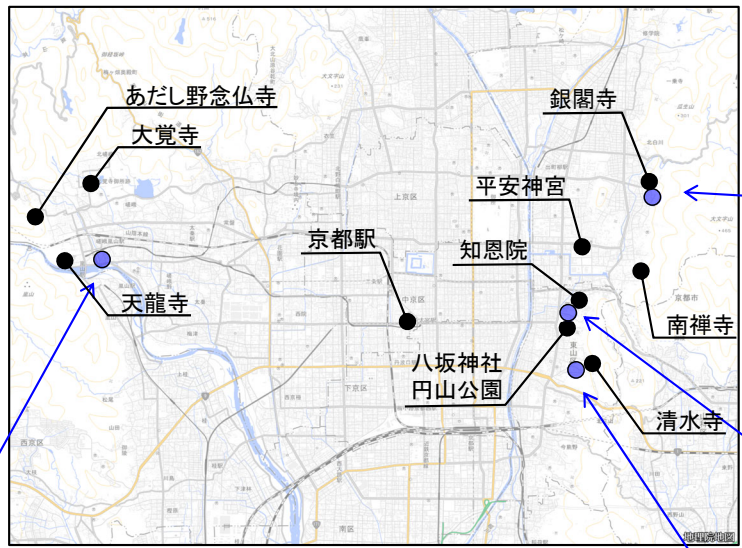
(出典)京都府タクシー協会会員事業者の運送実績(2019年1月~2021年5月)より作成

(出典)一般社団法人京都府バス協会運送収入・稼働率前年実績比較(2019年1月~2021年6月)より作成

6. 京都市内における観光交通の状況

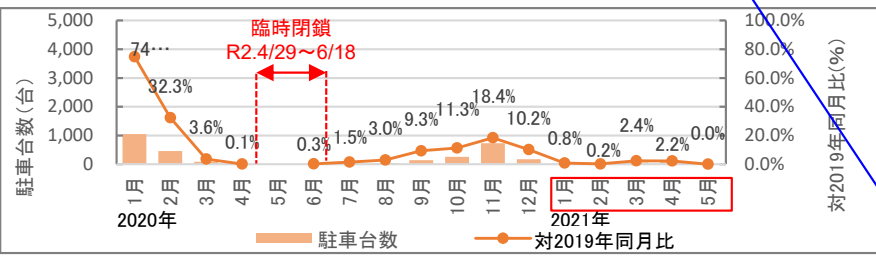
○観光地周辺の駐車場利用状況の変化としては、バスは2019年と比較し、臨時閉鎖後も利用状況が概ね低い水準にある。
 ○また、普通車は一概に前年と比較できる訳ではないが、バス利用の減少に伴い、利用が増加している状況がみられる。
 （嵐山・銀閣寺・清水坂の各観光駐車場は基本バス・タクシー優先であり、マイカーはバス・タクシーに支障がない範囲での利用）

駐車場位置図

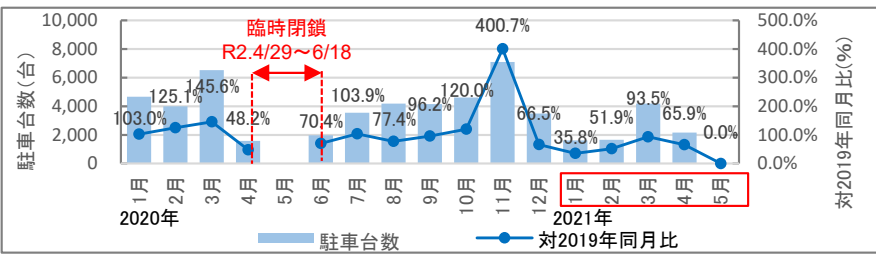


嵐山観光駐車場

バス駐車場台数



普通車駐車場台数

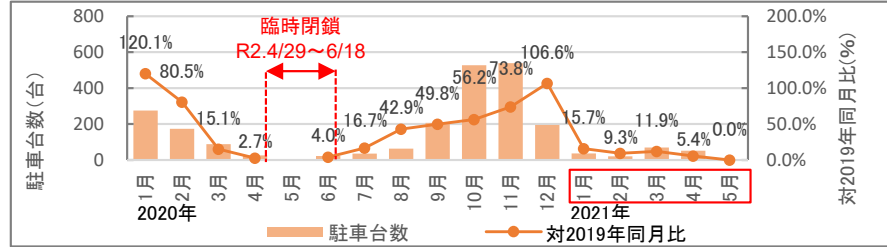


※観光駐車場はバス・タクシー優先
 ※駐車台数出典:京都市建設局

赤囲み内 更新データ
 2021年5月についても臨時閉鎖

銀閣寺観光駐車場

バス駐車場台数

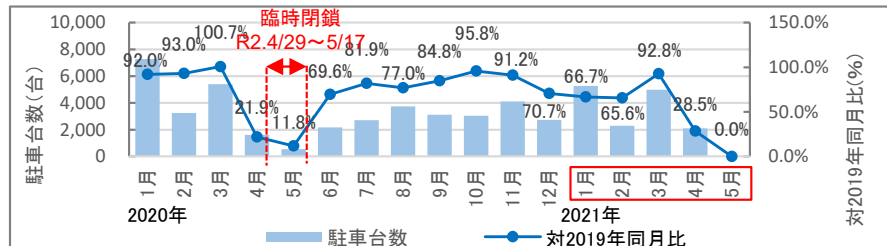


普通車駐車場台数



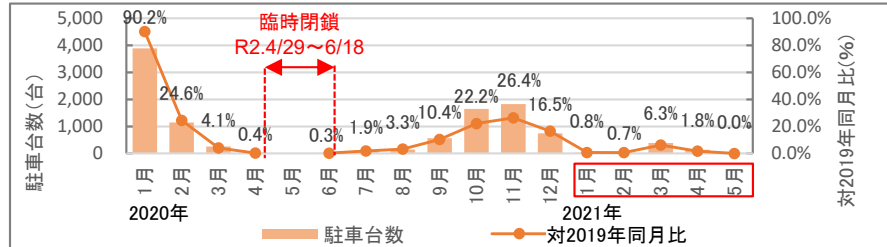
円山駐車場

普通車駐車場台数

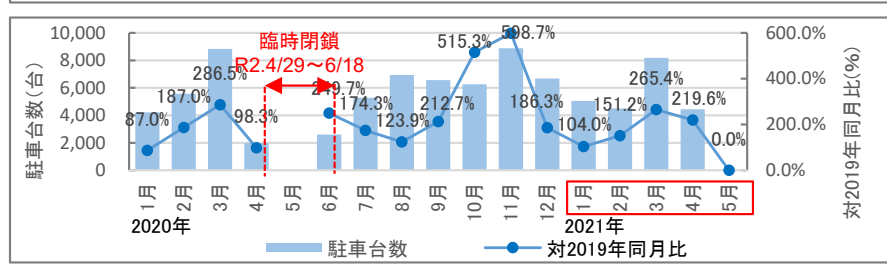


清水坂観光駐車場

バス駐車場台数



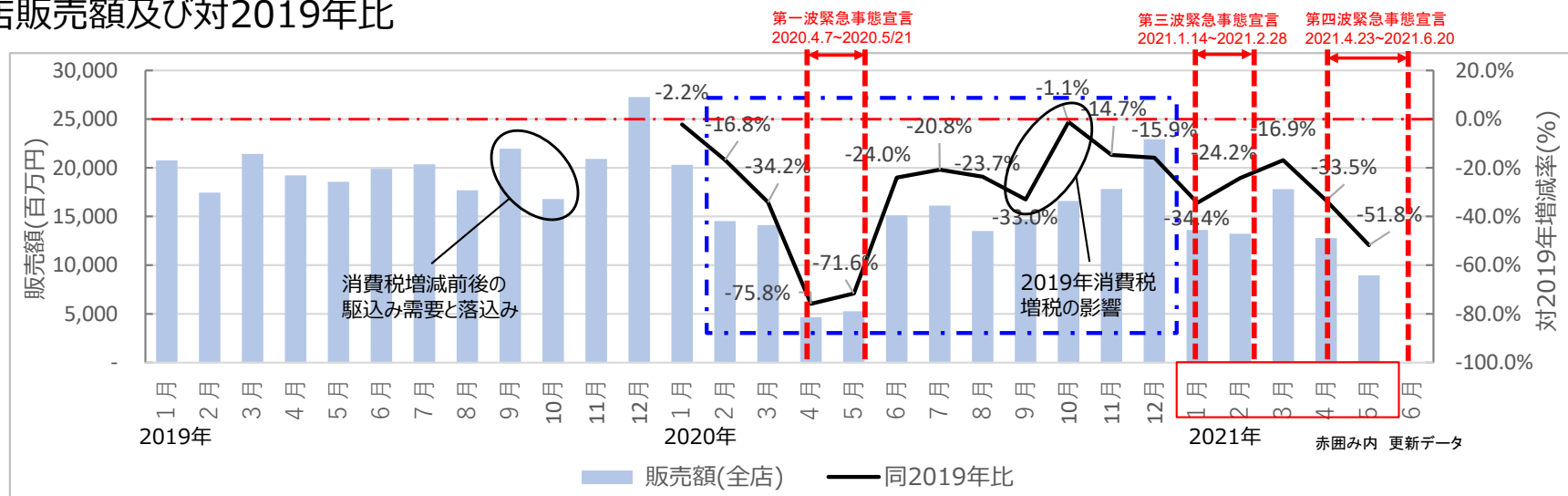
普通車駐車場台数



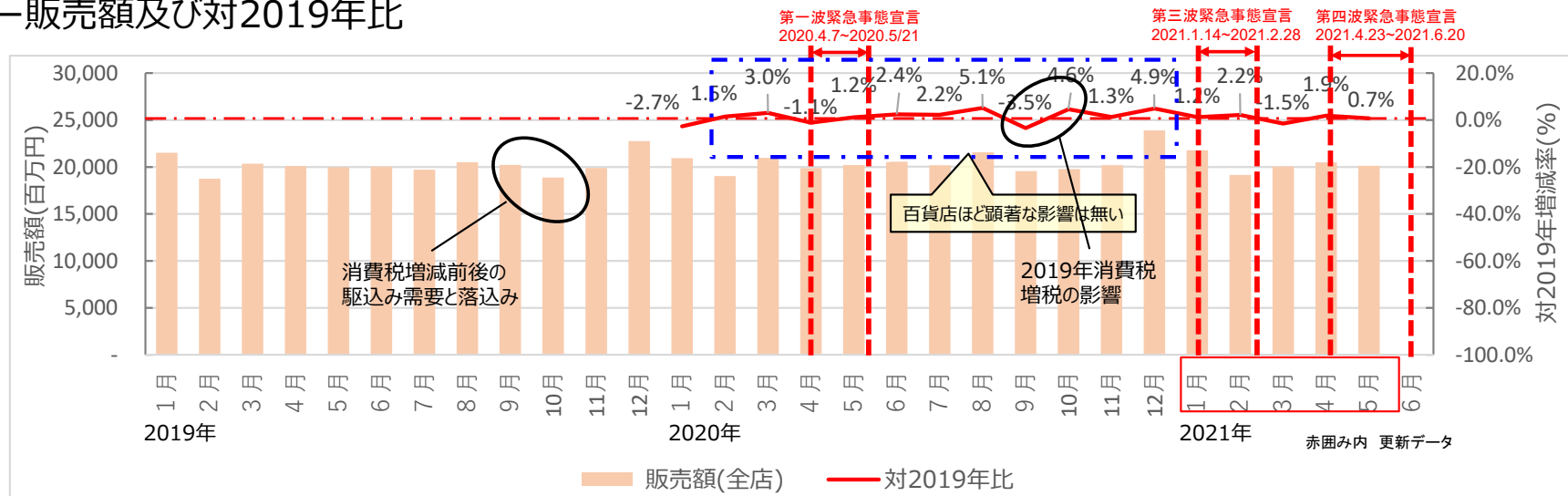
7. 京都府内の商業の変化

- 百貨店の販売額は、2020年2月より減少傾向で2020年4月に底を打ち、2020年5月以降年内は回復傾向にあったが、年明け後第三波の影響を受け減少。2021年3月は一時的に回復傾向であったが、第四波の影響で2021年4月以降減少傾向。
- スーパーの販売額は、コロナ禍でも大きな落ち込みは見られず、ほぼ同じ水準で推移。(±5%程度)

■百貨店販売額及び対2019年比



■スーパー販売額及び対2019年比



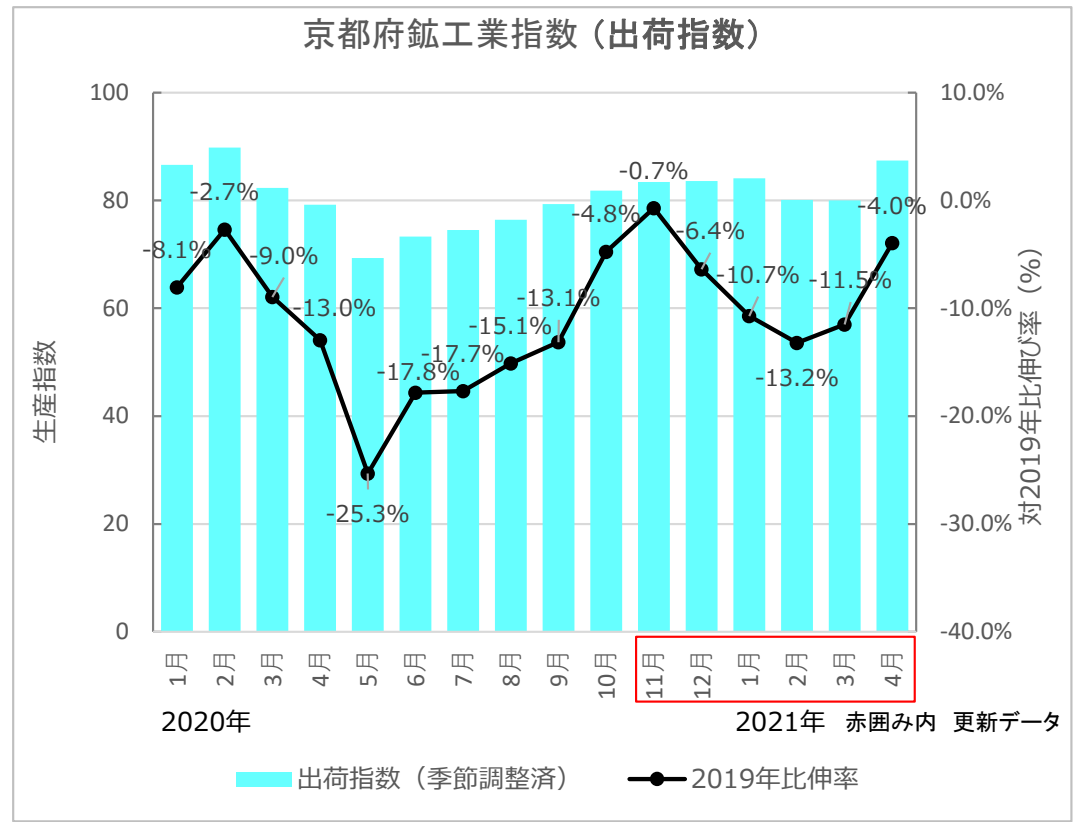
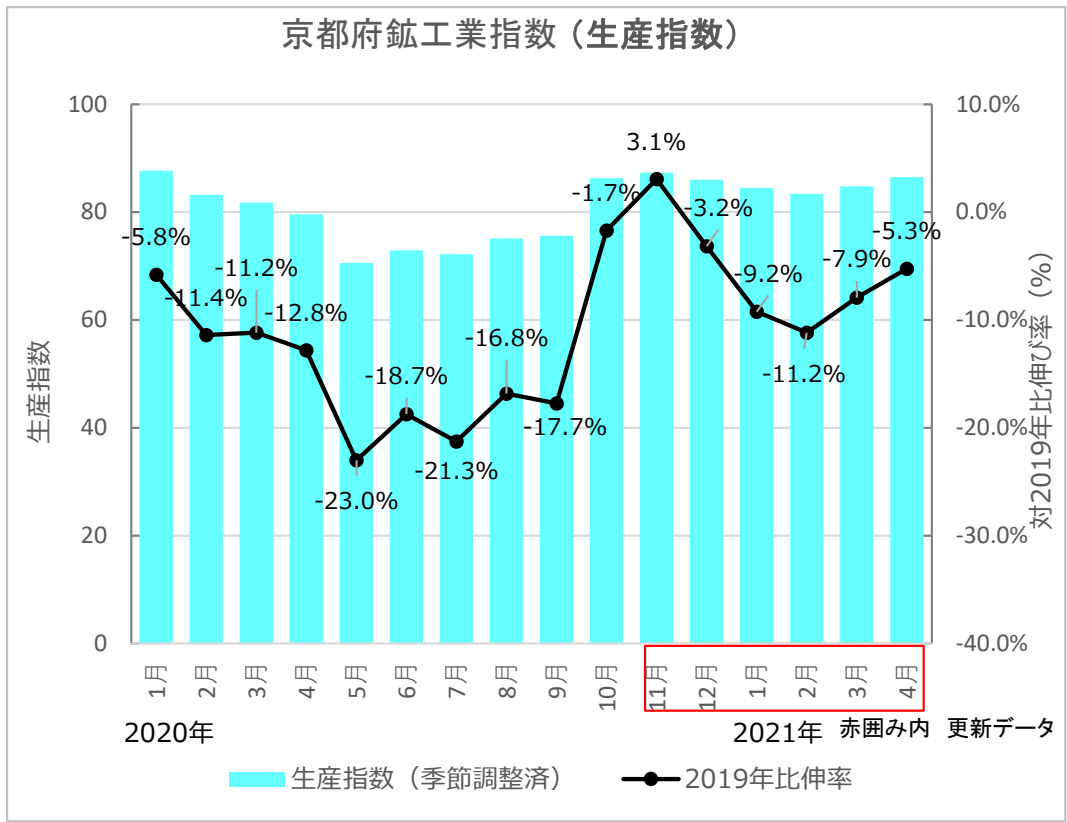
全店：新規店舗を含む全店舗の売上
最新月は速報値
2020年12月以前の数値は、年間補正済。

(出典)経済産業省 近畿経済産業局HP
News Release 百貨店・スーパー販売状況(近畿地域)より

8. 京都府内の製造業の変化

○京都府内の鉱業・製造業の生産・出荷指数は対2018年同月比が2020年5月に最も低下(約-25%)した後、2020年11月時点で対前年並まで回復した。2020年12月は再度落ち込みが見られ、年明け後も第三波の影響の影響を受け減少。2021年3月・4月は緊急事態宣言が解除され、回復傾向。

■京都府鉱工業指数推移(2020年1月～2021年4月 対2019年同月比)



- 鉱工業指数とは、鉱業・製造業の動向を示す数量指数
- 生産指数：鉱工業生産活動の全体の水準の動きを示す
- 出荷指数：鉱工業製品の工場からの出荷の状況を示す

(出典) 京都府鉱工業指数 京都府政策企画部統計課
 (季節調整済指数、平成27年(=100)基準)
 前年度比伸び率は2019年2020年2021年指数より算出
 最新月は速報値
 令和2年数値は年間補正済

まとめ：交通状況変化と社会情勢変化

- 平日の交通量は、第三波・第四波の緊急事態宣言下でも大きな変化は無い。
- 休日の交通量は、緊急事態宣言の影響を受けやすく大型連休時に2019年比90%を下回る減少がみられる。
- 観光客数、観光交通は緊急事態宣言下(1月、2月、4月、5月)での減少幅が大きい。
- 百貨店の販売額は、緊急事態宣言の影響を受けやすく販売額が大きく減少しているが、スーパーの売上額については影響は少ない。
- 製造業の生産・出荷指数についても、第三波の緊急事態宣言の影響を受け減少しているが、減少幅は少ない。



新型コロナウイルス感染拡大第三波以降、平日の交通量に比べ、休日の交通量・観光交通は大きな影響を受けている。

			2021年1月	2月	3月	4月	5月	6月
交通の変化	直轄国道の交通量 (京都市周辺)	平日	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)
		休日	上旬(年始)は2019年比90%を下回る	平年並み(2019年比95%以上)	平年並み(2019年比95%以上)	下旬は2019年比90%を下回る	2019年比90%を下回る	中旬まで2019年比90%を下回る
	高速道路の交通量		70%~90%(2019年比)	80%~95%(2019年比)	85%~95%(2019年比)	70%~90%(2019年比)	60%~85%(2019年比)	データ未公開
社会情勢の変化	観光客数	京都市延べ宿泊数	-80.8%(2019年比)	-78.8%(2019年比)	-61.7%(2019年比)	-75.2%(2019年比)	-79.6%(2019年比)	データ未公開
	観光交通	バス主要5社運送収入	-92.8%(2019年比)	-92.4%(2019年比)	-65.9%(2019年比)	-85.1%(2019年比)	-97.6%(2019年比)	-88.9%(2019年比)
		京都市域タクシー営業収入	-62.0%(2019年比)	-62.0%(2019年比)	-52.9%(2019年比)	-61.6%(2019年比)	-68.9%(2019年比)	データ未公開
	商業	京都府百貨店販売額(全店)	-34.4%(2019年比)	-24.4%(2019年比)	-16.9%(2019年比)	-33.5%(2019年比)	-51.8%(2019年比)	データ未公開
		京都府スーパー販売額(全店)	1.2%(2019年比)	2.2%(2019年比)	-1.5%(2019年比)	1.9%(2019年比)	0.7%(2019年比)	データ未公開
	製造	京都府鉱工業指数(生産)	-9.2%(2019年比)	-11.2%(2019年比)	-7.9%(2019年比)	-5.3%(2019年比)	データ未公開	データ未公開
		京都府鉱工業指数(出荷)	-10.7%(2019年比)	-13.2%(2019年比)	-11.5%(2019年比)	-4.0%(2019年比)	データ未公開	データ未公開

○京都市周辺の5箇所の観測点の平均交通量は、平日休日ともに各月、2015年より交通量が減少傾向である。京都府北部については、若干の増減はあるが、ほぼ一定である。2020年4月・5月については他の年度と比べて交通量の減少傾向が大きい。

